

るくおん通信

発行日：1994年 3月15日

No. 61号

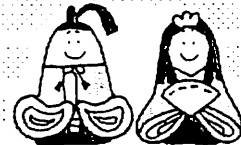
発行者：盲人情報文化センター録音製作係

リクエスト図書一覧

以下の図書は利用者から製作依頼を受けている図書です。

グループの方で、音声訳が可能な方がありましたら録音製作係までご連絡ください。

- 1 『概説統一原理レベル4』 / レベル4編集委員会：<宗教>
- 2 『無功德58号. 59号』 / 承福寺著：<宗教>
- 3 『俳句会報みまつ8. 9. 10月号』 / みまつ俳句会編<詩歌>
- 4 『神道の成立』 / 高取正男著：<宗教>
- 5 『みちのくの三愛運動』 / 角谷晋次著：<宗教>
- 6 『PENTAX取扱い説明書』 *至急
- 7 『連如 吉崎布教』 / 辻川達雄著：<仏教>
- 8 『1928年。御大典の裏側で』 / 田中伸尚著：<歴史>
- 9 『ノーマライゼーション研究』 / <社会福祉>
- 10 『鍼灸学』 <東洋医学>
- 11 『自立生活の思想と展望』
- 12 『鍼灸医学における実践から理論へパート2』
- 13 『論巧』 <東洋医学>
- 14 『沈黙の仏陀』 大川隆法著：<宗教>



◎リクエスト協力グループ

えくてもあ
グループ84
グループ汐
コスモス
テープライブラリーにしのみや
みなわ (奈良)
ボランティアいずみ
ICCBリクエストグループ

ご案内

第7回

東洋医学音訳研究会

日時：3月18日(金)

15:00~16:30

講師：片山一夫氏 (国立神戸視障センター)

場所：盲人情報文化センター 6階

参加費：100円 (資料代等含む)

※毎月第3金曜日実施

第4回

音声訳研修の会

日時：3月25日(金)

13:30~15:30

場所：盲人情報文化センター 6階

参加費：無料。どなたも参加出来ます。

内容：チームに分かれて処理の研究を行います。

【音声訳】を考える (第12回)

記号の読み方を考える



録音製作係 清水賢造

記号の読み方を考える場合、まず、数学や物理、コンピュータなどの情報処理など分野で使われている記号と、地の文章などで使われている記号とで処理の仕方は変わってきます。

専門分野の記号の読み方は、その分野の読み方を採用しますが、そうでない時の読み方は使われている記号の意味を考えながら、その都度判断していくことが求められます。

例えば「＝」の記号の読み方ですが、数学や物理などでは普通「イクオール」と読みますが、小説や普通の文に使われている時は、「イクオール」と機械的に読んだのではわかりにくい場合があります。もちろん「イクオール」と読んで通じるものまで変えて読む必要はありませんが。次のような例文の場合、「＝」の記号の読み方はどうでしょうか。

「・・・『共同研究新撰組』の「河合耆三郎＝森愛子氏」によれば耆三郎は播州の米所高砂で大蔵屋と呼ばれる最高特権階級の大商人河合家の長男であった。・・・」

上の文章は例文が短いのでわかりにくいと思いますが、「河合耆三郎」について書かれた本を取り上げています。

「河合耆三郎イクオール森愛子氏によれば・・・」と読んだのでは聞き手は混乱してしまいます。私達は「＝」記号によって著者であることを予想しながら読みますが、「イクオール」と読んだだけでは、「著者」という意味に置き換えができません。視覚的に記号を使っていますので、記号の意味を音声訳者が訳して読むことが必要です。「＝」を無視して音訳表現技術だけでわかる方法もあるでしょうが、よりはっきりさせるには、言葉を補う方が親切でしょう。

上の場合、「河合耆三郎、執筆 森愛子氏 によれば」などとするとよりはっきりします。

数学記号で、よく出てくる「<」「>」などの記号も普通の文に出てきたときは注意が必要です。

$A > B$

上記の場合は、数学的な読み方では「A大なりB」と読みますが、これが普通の文章に出て

きた場合は、「AはBより大」と読めば誰にでも通じるでしょう。

以下の例はどうでしょうか。

「・・・金利体系は 貸金>公定歩合>預金 である。過剰に貸すと 貸金<高率適用日銀金利となって銀行は損をする。」

これは記号通りに読めば、「金利体系は、貸金、大なり、公定歩合、大なり、預金である。・・・」となり、数学に強い人はわかりますが、普通、全部の人がわかるとも思われません。私達は数学の知識がなくても記号の形で理解しながら読んでいきますので、配慮するとしたら、「大きい順に、貸金、公定歩合、預金である。過剰に貸すと、貸金より高率適用日銀金利が大となって・・・」といった読み方になるでしょう。

つまり今までの例でもわかるように、普通の文章で使われているような記号は、形を見ればその読み方を知らなくても、使われている意味を理解しながら読めるものが多いと言えるでしょう。だから記号の読み方を調べて正しく読んだとしても、その記号の意味が大部分の利用者がわからなければ、表記通りに読んでも音声訳を果たしたことはなりません。

以下、一月の「音声訳研修の会」で取り上げたものなどから、記号の出てる例文を上げますので研究してください。



例1.

「それはまあ、こんな場所で◆○★□たとしてもだね」能勢龍夫は周囲を見まわす。「夢だからかまわないだろうけど、乾や小山内が☆●◎■して、ちょっかいをかけてきたらどうするの。連中、屋間でも研究所のPT機器からときどき君の様子を☆●◎■しているみたいだし」

「では自分が見張りに立つ」粉川利美が決然として言う。連中らしきものの影がちらりとでも見えたら一括し、脅かしてスイッチを切らせてやる。

すまん。パプリカへの粉川の思慕を知っている能勢はひたすら申し訳ないと思い、それはパプリカも同じだ。ごめんなさいね。あなたの目の前で。あなたとは一度△★○ったんだし。なあにいいのさ。思考も感情も感覚も●□までも、同床同夢なら一心同体。君たちの▲◇◎を、きっと自分も感じことができるだろうから。・・・

『パプリカ』 筒井康隆

例2

Bに登場してもらおう。撲殺事件の時、A看護者に加担して暴行に加わったあの“B看護助手”だ。“看護助手”とわざわざ印をうったのは、実は彼は入院患者だったからである。

彼は警官だった。・・・

『心病める人たち』 石川信義

例3

...

一方、日本には頭の痛くなるような名字も多い。漢数字に関したものを拾うと――。

四月一日=わたぬき▽六月一日=くさか▽八月一日=ほずみ▽八月朔日=ほそみち▽一二月一日=しわすだ▽一二月晦日=ひづめ▽一寸八分=かまつか▽七寸五分=くつわだ▽七七五分=みづつき▽十時=とき▽三方一所=くつわだ▽四十八願=よいなら▽四十四院=つるし。

漢字は山とあるが、中には「子子子=ねこし」というのがある。仮にこの家に女がいて、名前に「子」がつくと、「子子子○子」となるな。.....

『珍名さん』新聞コラム

例4

新井貢次郎氏は、近世社会の村法に現れた村八分は、庄屋（名主）、年寄などの村役人や五人組が合議して法度に照らし、議決の結果によって実施したとして、その制裁理由を抽出して次のように列挙している。

- (A) 村法違反。特にいちじるしい場合は、対外抗争を行う場合の申し合わせ違反。
- (B) 個人の事情に即して科される場合。
 - (イ) 客観的事実に重点をおく場合。
 - (a) 共同作業の不参加、不精、出火、姦通、共有林盗伐（刑事的事件）
 - (b) 村役人の非違行為。
 - (ロ) 客観的事実の根底にある被罰者の主観的事情を重視する場合。
 - (a) ならず者、無法者などの不身持ちで始末におえず、村に迷惑ばかりかけるような者。
 - (b) よく紛争を起こす反抗的な者。

村八分は村の運営を乱す行為をする者に対しての制裁を加えることをいう。そこには地域集団の取り決めによる意思が働いている。

『犯罪の民族学』磯川全次著



処理のポイント



例1

この記号をその通り読むと大変です。この本では結構このような記号が出てきます。記号通りに読まず、△△とか、□□とか、○○などと読むのも方法でしょう。本文にはできませんが後に、「むにゃむにゃ声」と著者が表現しているところもあるので、記号のところを「むにゃむにゃ」と読むのも一方でしょう。

例2

これは「 ” 」の記号の処理の仕方です。記号を無視すると何かわかりません。

しかし、これを「・・・暴行に加わったあのダブルコーテーションB看護助手ダブルコーテーション閉じ、だ。ダブルコーテーション看護助手ダブルコーテーション閉じとわざわざ印をうったのは・・・」と表記通り音声訳するとわかりにくい文章になります。

これは、いわゆる「」付きの言葉ですから、「・・・暴行に加わったあの、ダブルコーテーション付きB看護助手だ。ダブルコーテーションとわざわざ印をうったのは・・・」

とか「暴行に加わったあのカギカッコ付きのB看護助手だ。カギカッコとわざわざ印をうったのは・・・」などと処理する方法もあるでしょう。

例3

だれも▽の記号は読まないでしょう。しかし、「＝」の記号の処理はさまざまでしょう。「＝」を読まない後半わかりにくい言葉もでてくるので記号を読んだ方がよりはっきりするでしょう。「イクオール」と読むとどうも堅くなるので、「＝」を「は」と読む方法もあるでしょう。また、「子子子＝ねこし」では、「こここ、子どもの子が三つで、ねこしというのが・・・」とよめば「＝」を「で」に置き換えて読むことになります。

「子子子○子」の「○」は「こここ、マル、こ」とか「こここ何こ」となるでしょう。

例4

この問題はわかりにくいと思います。本来、表にされるようなものを簡条書きしたもので、記号を使って書き表しています。

その記号のまま読むと、Bの中に、イがありロがあるように聞こえます。実際は、イ、ロはAとBにかかる項目ですから、(a) (b)を読む場合に、「Aの場合」とか「Bの場合」と読むと分かりやすいでしょう。

正誤表から・・・その35

語句	誤読	正しい読み	語句	誤読	正しい読み
赤熱	シャクネツ	セツネツ	先蹤	センジュウ	センショウ
迫上げ	セマリアゲ	セリアゲ	足搔(き)	アシカキ	アガキ
極寒	キョッカカン	ゴッカ ゴッカ	諫言	レンゲン	カンゲン
凜然	ショウゼン	シュクゼン	幕舎	マクシャ	バクシャ

二通りの読み方があって各々意味が異なるもの・・・その22

外用	がイヨ ゲヨ	薬を体の外部に用いること。 下層の人の食用とした充分 につかない米。	見所	ケンヨ(ケンゾヨ) ミドヨ	見物の場所。見物人。 見る価値のあるところ。将来 の望み。要點。
下等	かウ ゲラ	劣ること。等級が下。 (一人称)おれ	功德	コウトク ゲク	功と徳。功を上げ徳を立てるト (仏)よい果報をもたらすこと となる善行。ご利益。
下風	シカゲ カウ	木等の下を吹く風。 かさしも。人の一に立つ。	一行	イチギョウ イツコウ	唐代の僧。文字の一並び。 連れだった人々。同行者。

きれいに録音する為に(第2回)

家庭録音機の条件



1. 音質がよいこと

雑音が目立ったり、音がこもっていても利用者は聞いていて疲れてきます。雑音が少なく音声クリアーに録音される機械が必要です。

2. マイク端子が付いている

マイクは、外部マイクを使用します。内蔵マイクで録音すると、機械の音や操作音などがすべて録音されてしまい、雑音の多い録音図書になってしまいます。音声のみをクリアーに録音する為には、外部マイクを使用しますので、マイクジャックを差し込める端子が付いていることが必要です。

3. 後追い録音ができること

ノンストップ録音することは不可能です。必ずつなぎながら録音していきますし、訂正作業では、はめ込んだりすることになります。前の読みを聞きながら、必要なところにきたら、機械を止めずに録音ができる機能が必要です。この機能がないと、一旦、止めて録音状態にしなくてはなりませんので流れが不自然になったりします。

4. 操作音がしない

操作音は録音状態にした時やストップした時に「ガチャン」などが入る音です。押しボタンなどではよく音が入ります。フェザータッチ式のものやリモコンなどであればこの操作音はほとんど気にならなくなります。

5. 手動録音ができること

一般に市販されているラジカセなどはほとんどが自動録音機です。自動録音は、録音ボリュームを機械が自動的に調整するので、一見、録音に向いているように思いがちですが、録音図書作りには向いていません。まわりが静かになったら自動的にボリュームがあがり、声の出始めなどが大きくなるからです。読み手にふさわしい適切な録音ボリュームに調整できる

機械が必要です。

6. 2ヘッドであること

録音機には2ヘッドと3ヘッドがあります。2ヘッドは消去ヘッド（録音時に前に録音されていた音など消していくヘッド）と録音・再生ヘッドの2つのヘッドになっているもの。3ヘッドは、消去ヘッド、録音ヘッド、再生ヘッドと3つヘッドがあるものです。

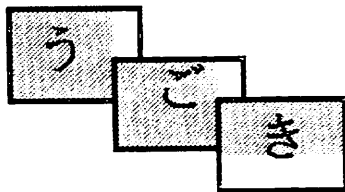
3ヘッドの場合、実際に聞こえてくる音と録音するところがずれていますので、消え残りが出たりします。操作もこの差を踏まえてしなくてはなりませんので少し複雑になります。

2ヘッドの場合、再生音と録音が同じですから、操作が比較的簡単になります。

7. 価格が比較的安価であること

以上が録音機を選ぶ条件になりますが、これらの条件を満たす録音機となるとカセットデッキということになるでしょう。現在、日盲社協ではSONYのカセットデッキ「TC-RX711」（現在市販されている機種）を推薦しています。この機種は近々TC-RX715としてモデルチェンジされる予定です。また、この「715」を家庭録音用に改造し「TC-RX715T」として発売も予定されています。「711」は日本橋では3万円程度で購入できますが、「715T」がどの程度の価格になるかはまだはっきりしていません。3万円程度で購入できるといいのですが、今のところ4、5万円前後になる様です。カセットデッキだけで5万円前後になると、マイクやスタンドなども揃えると6万円前後になり少々高価な買い物になりますので、お薦めするのも抵抗を感じます。できるだけ3万円台で購入できるようにして欲しいものです。

さて、カセットデッキだけでは録音できません。次に必要なのはマイクです。「無指向性」のマイクはいろんな方向の声を拾ってしまいますので、マイクの向いている方向の音を拾う「指向性」のマイクを使います。マイクの種類は乾電池が必要なエレクトレット・コンデンサーマイクと乾電池のいらぬダイナミックマイクがあります。普通、ダイナミックマイクで充分です。極端に声量のない人などは、感度のよいエレクトレット・コンデンサーマイクがよいでしょう。電池式の場合、感度が良すぎて口の中の音まで拾ったり、音質が硬質になりますので、声が高音の人などはあまり向かないでしょう。また、電池切れなどで音質が落ちたり録音不良になったりしますので注意が必要です。マイクの価格は余り高価なものはありません。高価なマイクは音楽会などでは能力を発揮するでしょうが、人間の音声を録音するには5、6千円のマイクで充分です。次にマイクを手を持って録音するわけにはいきませんので、固定するマイクスタンドが必要です。机の上に直接置く卓上型は機の振動やこすった音などが録音されてしまいますので、できるならば、机に直接接しないようにブームスタンドなどが理想的ですが、価格の点で1万円以上しますから、天井などから吊るせる様であればマイクを吊るす方法もあります。卓上型の場合は下に柔らかいものを敷くなど工夫が必要です。



94年は度音声訳講習会はありません

盲人情報文化センターの94年度の「音声訳講習会」はありません。

これは、93年度の講習会終了生が今年から活動に加わると、スタジオが満杯になる為です。95年度の講習会は94年度、後半のスタジオ状況をみながら判断する予定です。

校正マニュアル完成

盲人情報文化センターの校正者養成の為のマニュアルが出来上がりました。(B5版 P40)

盲人情報文化センターで活動されている方には全員配布します。グループで希望されるところがありましたら、係りまでお申込下さい。

東洋医学勉強会94年度も実施予定

現在、東洋医学勉強会には毎回14グループ、30人余りの方が参加されています。

勉強会は、実際に東洋医学関係の音声訳をしながら質疑、応答の形式で行われています。また、自分の音声訳中のものでも質問することができます。4、5冊読めば、東洋医学関係の音

声訳は自信が付くとの先生のアドバイスもあり、94年度も講師の方の協力も得ながら継続していく予定です。

「てんやく広場」実験サービス開始

「てんやく広場」とは、パソコンを使って点訳された情報をホストシステムで集中管理し、希望する会員にパソコン通信ネットワークで情報を提供するサービスです。

今年2月から一般の図書館、点訳グループや視覚障害者も会員になることができます。現在は点字データが中心ですが、録音図書の着手情報ものせることもできますので、将来、録音図書の着手情報が即座にわかるようになります。まだすべての点字図書館や公共図書館が加入していませんが、多くの館が会員になることで今後充実していくことでしょう。

現在は実験サービスで無料ですが、利用料は施設関係が年会費5万円、視覚障害者個人は年会費6,000円です。視覚障害者は5,000タイトルを超える点字データをパソコン通信を使って自宅で自由に読むことができるようになりました。極端に言えば、自宅に5,000冊の本を持っているとも言えます。

